

事業概要シート

施策	0302	芸術・文化の振興	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	体育文化センター設備改修事業	現状維持	予算額	39,700 千円
事業期間	平成29年度 ~		≪ ≫	165,429 千円
根拠法令 要綱等			財源内訳	
			国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	11,600 千円
			その他	1,847 千円
			一般財源	26,253 千円

【事業の目的・概要・対象】

体育文化センターは、スポーツ及び芸術文化活動の拠点となる施設であり、施設がその機能を十分に発揮し、市や市民が行う安心安全で快適な活動に支障が出ないように維持管理整備を行う必要がある。

【主な施設設備改修】

- 体育文化センター全体 ・ 外壁改修工事 ・ 冷却用空調熱源装置更新工事 ・ 照明制御装置改修工事
- スポーツ棟
 - ・ メインアリーナ映像装置改修工事 ・ メインアリーナ音響設備改修工事
 - ・ メインアリーナ調光設備及び調光操作卓改修工事 ・ メインアリーナLED改修
 - ・ アリーナ雨漏り改修工事 ・ 防水シート改修
- 教養文化棟
 - ・ さくらホール及びコミュニティセンター音響設備改修工事
 - ・ ホワイエ雨漏り改修工事

- 【備品等更新】** ・ トレーニングマシン更新

体育文化センター：文化・スポーツの中核施設

築25年以上

課題	・ 設備・備品の老朽化	機器の劣化 使用期限超過 OSの非対応 修理部品なし
	・ 新しい技術への対応	LED デジタル化



計画的な設備改修が必要



故障などのトラブルなどを減らし、
様々な演出が行えるようにし、更なる中核施設に

【背景】

体育文化センターは、築25年以上経過し、施設設備が老朽化してきており、機器の更新、デジタル化など最新の機器への対応が必要となっており、今後中長期的な改修が必要である。

担当課	教育委員会文化振興課	課長	大野 安生
担当者	末長 裕幸	問合せ先	0957-53-4111（内線386）

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	改修工事数	計画値 件	3	2	3	3	2
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	設備改修率	計画値 %	60	60	60	65	65
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	11,319	64,556	165,429	39,700	305,800	68,214	655,018
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債				11,600			11,600
その他	1,000	1,233	6,000	1,847	1,660	1,660	13,400
一般財源	10,319	63,323	159,429	26,253	304,140	66,554	630,018
人件費	2,476	2,329	4,110	2,282	2,282	2,282	15,760
職員(人)	0.34人	0.32人	0.55人	0.30人	0.30人	0.30人	2.11人
時間外勤務(h)	2h	1h	55h	50h	50h	50h	208h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	13,795	66,885	169,539	41,982	308,082	70,496	670,778

妥当性 (市の関与)	市の施設の改修であり、市が行うべき事業である。
有効性 (施策貢献度)	体育文化センターは、芸術文化活動を行う本市における拠点施設であり、その維持整備は施策に必要なことである。
効率性 (コスト)	今年度から本格的に工事が開始されるが、今後事業を行う上で検討していく。

1次評価	築25年以上となり、施設・設備の改修・更新は不可避であり、事業実施は必要。
2次評価	一次評価のとおり